

日本プロ野球選手会 新代理人登録制度 および研修映像について



日本プロ野球選手会

映像による代理人研修制度導入の背景

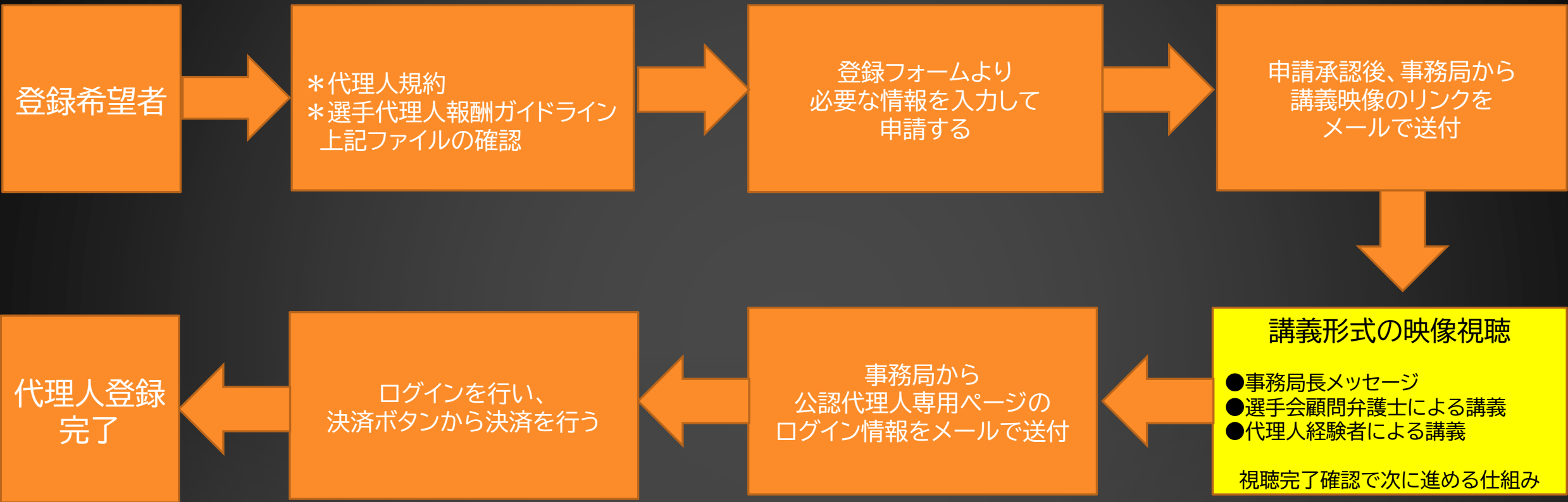
選手と球団との対等な立場での交渉を実現させ、選手がストレスから解放され、貴重なオフを翌シーズンの準備に費やすことに集中できる環境づくりの観点から、選手会が訴え続けてきた代理人制度は、2000年オフに実現しました。

当会では、代理人制度のスタート時における、一人の代理人が複数の選手を担当できないといった条件に対する改善を求め続けておりますが、一方で、現況の制度の中でも、プロ野球選手の代理人という仕事に意欲を持ち、交渉のノウハウを蓄積する人材の育成も急務となっております。

当会では、従前より、ホームページにおいて代理人登録を受け付けておりますが、その条件として、「日本プロ野球選手会公認選手代理人規約」および「日本プロ野球選手会・選手代理人報酬ガイドライン」の2種類のファイルを熟読したうえでの登録申請を呼び掛けてきました。

今後は登録時に、代理人の仕事の意義や心構え、交渉時に起きる事象や、担当選手や球団担当者とのコミュニケーションのあり方など、事前に知っておくべきことを講義形式で記録した映像の視聴を義務付け、登録の機会を、単なる手続きで終わらせず、代理人業務への深い理解と意欲を促進する方向に改善したいと考えております。

新代理人登録制度の手続き手順



研修用映像について

代理人業務における重要事項や、選手に寄り添っての契約更改業務がイメージできる講義形式の映像を作成、登録にあたって、代理人の意義・役割への理解を促進します。

内容

1) 森事務局長 メッセージ(2分程度)

選手会における代理人制度の意義。課題。代理人に期待すること。

2) 選手会顧問 山崎卓也弁護士(20分程度)

- ・代理人交渉のさまざまな事例を見てきた立場からのケーススタディ・エピソードの紹介
- ・選手にとって望ましい代理人像、達成目標とは

3) 代理人経験弁護士/川添丈氏(25分程度)

実務経験を有する弁護士による講義

- ・代理人業務とは何か ・契約更改はどのように行われるか ・事前に必要な知識(専門用語)
- ・担当選手とのコミュニケーション ・契約更改交渉で想定される事象 ・交渉相手とのコミュニケーション
- ・代理人業務を行う上で重要な軸とは何か